

本年度、自動車技術教育用教材を過去最多の 130 校に提供することが決定しました。

当財団では、自動車に関する技術教育を実施している高等学校を対象に、教育現場のニーズにそった自動車教育用教材を毎年提供しています。

提供する教材は、視聴覚・模型教材から、初級教育用の分解組立用エンジンや工具類、さらには中級・上級用の実験実習用機材まで、幅広いメニューを用意しています。

毎年 14～18 の地域で対象となる高等学校へ応募案内を行い、対象校は 3 年に一度応募できる仕組みです。

8 月に学識経験者や関係団体の方を中心に構成される審査委員会での審議を経て、提供校・提供教材を決定しています。

今年を対象となる 15 府県 313 校のうち 130 校から応募がありました。

8/21（水）に上述の審査委員会が行われ、提供校と提供教材が決定しました。

この提供校数“130”は当活動を開始した平成 3 年度以降最も多く、昨年度に続き過去最多を更新したことになります。

本年度は、電動車両への理解を促進するために自動車・機械系のみならず、電気・電子系の学科も活用できる教材「EV ミニカート・キット」を新設。

当新教材の提供校数は 29 校に達しました。

これは、提供校数 41 校で最多となった「分解組立用エンジン（汎用 126cc）」に次ぐもので、全体の提供校数増加に大きく寄与しました。

尚、平成 3 年度から実施してきた本活動の提供校数は、累計で 2,534 校となります。

本年度の提供対象校や提供教材等の詳細は、以下 URL よりご確認ください。

<https://00m.in/jGCVd>

---

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

【読者の皆さまへ】

私どもは、先生方や高校生の皆さんにより有益なご支援を提供してまいりたいと考えております。

つきましては、当財団の事業やご支援メニューについて、ご意見やご要望等をお寄せください（以下のいずれかの方法にてお願いします）。

1. 当メルマガに返信
2. SNS でのコメント、返信  
X（旧 ツイッター） <https://twitter.com/jidousyakyoku>  
フェイスブック <https://www.facebook.com/jaef2019/>